

令和6年3月

湯梨浜町議会定例会

令和6年度

一般会計

当初予算参考資料
(歳出予算 事業概要書)

東伯郡湯梨浜町
【生涯学習・人権推進課】

令和6年度 一般会計

当初予算参考資料 目次

歳出予算

款	項	ページ
3. 民生費		
	1. 社会福祉費	1
	2. 児童福祉費	5
5. 農林水産業費		
	1. 農業費	7
7. 土木費		
	4. 都市計画費	8
9. 教育費		
	4. 社会教育費	10
	5. 保健体育費	42
	6. 人権教育費	54

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	08	同和対策費	
事業	大	0122	解放同盟支部活動費 (簡略番号：005941)						
	中								
	小								
	細								
事業期間		令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常		
経費区分		未設定		事業の種類				未設定	
補助単独区分				目的区分				民一社会福祉費	

財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	155	155		155	128
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	155	155		155	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	155	155
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合 計	155	155
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施 計画	部		79	実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 同和問題の早期解決のために支部が行う大会参加、研修会、学習会等の活動に対し、円滑に実施できるよう交付する補助金である。
【事業の必要性】
 各種研修会へ参加し同和問題の現状、課題等を知り部落差別の解消や課題解決に資する活動を行っていくために必要である。

2. 根拠法令
 部落解放同盟支部活動費補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって 共に学び 明日を拓く ひとつくり(人権教育の充実)
【湯梨浜町あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】 同和問題
 SDGs 目標10「人や国の不平等をなくそう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
 部落問題の早期解決に資することができる。
【令和5年度評価】
 人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会をはじめ、他の大会に支部として参加できたため、その成果を総会等で報告することで課題等を共有していくことができた。また、人権・同和教育講座を開催していきたい。

6. 財源の説明
【一般財源】 155千円

03款 01項 08目 012200000事業 解放同盟支部活動費

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	09	隣保館運営費
事業	大	0010 隣保館管理運営経常経費 (簡略番号：006015)						
	中							
	小							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続		臨・経	経常	
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	民一社会福祉費				

財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	1,596	1,727	△131	1,868	1,615
	国庫支出金					
	県支出金	1,500	1,725	△225	1,725	
	地方債					
	その他	2	2		2	
	一般財源	94		94	141	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 文化会館事業として行う啓発事業、伝統文化の教室、交流促進のためのものづくり教室等に係る講師謝金及び施設の適切な維持管理に係る経費である。
【事業の必要性】
 対象地域住民とその近隣地域住民に対し住民交流の拠点として供し、福祉・文化・生活の向上を図り、併せて同和問題解決のための啓発の拠点として事業を展開するため必要である。

2. 根拠法令
 社会福祉法、隣保館施設運営（通知）
 湯梨浜町立隣保館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって 共に学び 明日を拓く ひとつづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】 同和問題

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
 同和問題に対する理解や住民交流が促進され、また福祉・文化・生活の向上や同和問題の速やかな解決に資することができる。
【令和5年度評価】
 隣保館の運営に必要な維持管理を適正に行うとともに、ものづくり教室などの事業をとおして住民交流を促進することができた。

6. 財源の説明
【使用料】 2千円（文化会館使用料）
【県補助金】 1,500千円（隣保館運営補助金）
【一般財源】 94千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	13	13	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	5	5	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	1,177	1,177	25 寄附金		
11 役務費	129	129	26 公課費		
12 委託料	239	239	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	33	33	予備費		
14 工事請負費			合計	1,596	1,596
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020201010	隣保館運営費補助金	1,500	1,725
使用料	13010202002	文化会館使用料	2	2

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県隣保館運営費等補助金				
補助基本額	2,000	補助率	75.0%	補助金額	1,500

【実施計画】

実施 計画	部		79	実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

03款 01項 09目 001000000事業 隣保館管理運営経常経費

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	09	隣保館運営費
事業	大	0011 隣保館管理運営臨時経費 (簡略番号：006057)						
	中							
	小							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	民一社会福祉費				

財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	6,314	84	6,230	84	299
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	6,200		6,200		
	その他					
	一般財源	114	84	30	84	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 文化会館施設の適切な維持管理に係る修繕料
 エアコン（多目的ホール、事務室）、遊具の劣化により修繕を行うもの。
【事業の必要性】
 地域住民とその近隣地域住民の交流の拠点である文化会館施設の適切な維持管理を実施し、来館者に良好な状態で施設を提供するため。

2. 根拠法令
 社会福祉法、隣保館施設運営（通知）、湯梨浜町立隣保館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 （人権教育の充実）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
【あらゆる差別をなくする総合計画】 部落の完全解放の実現

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
 施設利用者が安全に活動することができる。
【令和5年度評価】
 隣保館の運営に必要な維持管理を適正に行った。

6. 財源の説明
【地方債】 6,200千円（過疎対策事業債）
【一般財源】 114千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	6,314	6,314	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	6,314	6,314

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010201009	過疎対策事業債（文化会館エア	6,200	

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額	補助率	補助金額	

【実施計画】

実施 計画	部		79	実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

03款 01項 09目 001100000事業 隣保館管理運営臨時経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	09	隣保館運営費
事業	大	0023	部落解放文化祭事業	(簡略番号：006100)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常		
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	民一社会福祉費				

所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課(人権			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	106	106		106	77
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	106	106		106

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	
<p>【事業の概要】 同和問題の解決のための啓発や地域との交流を行うため、住民の作品展示、ステージ発表など湯梨浜町部落解放文化祭を実施するための必要経費である。</p> <p>【事業の必要性】 部落解放に向けて育まれてきた伝統文化や年間を通して取り組まれてきた地区内の諸団体の活動などの成果発表の場及び町内関係団体の参画により部落解放への理解を深める場として必要である。</p>	
2. 根拠法令	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	
<p>【第4次総合計画】志をもって 共に学び 明日を拓く ひとつくり (人権教育の充実)</p> <p>【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】同和問題 SDGs 目標10「人や国の不平等をなくそう」</p>	
5. 本年度の計画効果	
<p>【計画効果】 各種の学習成果を発表することで地域住民及び周辺住民との交流が図られ、差別解消に向けた効果が期待される。</p> <p>【令和5年度事業評価】 アフターコロナとして、4年ぶりにステージ発表やバザーも実施した。また、東郷地域の各こども園、保育園、東郷小学校、町内各種団体等の表現、創作活動などの作品展示により、地域の文化に触れるとともに人権意識の向上につながった。</p>	
6. 財源の説明	
【一般財源】106千円	

【事業費内訳】					
節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	90	90	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	16	16	予備費		
14 工事請負費			合計	106	106
15 原材料費					

【特定財源の内訳】					
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初	

【補助金】					
補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】					
実施計画	部		80	80	実施計画計上額
	章				
	節				
	細節				

03款 01項 09目 002300000事業 部落解放文化祭事業

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	05 児童館費
事業	大 0010 田畑児童館管理運営経常経費 (簡略番号：007187)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	民一見一その他		

所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課 (人権)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,443	2,972	471	3,127	2,758
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	3	3		3
	一般財源	3,440	2,969	471	3,124

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 遊びの提供などを主に行い、児童の健全育成に資するため児童厚生員を配置し事業を行う。会計年度任用職員（児童厚生員）1名分の報酬及び施設の光熱水費及び修繕等の維持管理費及び音楽リズム遊び、おはなし会等の講師謝礼、Jパラダイスの教材費など事業実施経費である。
【事業の必要性】
 健全な遊びを通して児童の健康増進と情操を豊かにするため。

2. 根拠法令
 児童福祉法
 湯梨浜町立児童館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって 共に学び 明日を拓く ひとつづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】 同和問題

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
 児童の健康増進と情操の豊かさが図られる。
【令和5年度事業評価】
 可能な限り児童を対象に創作活動や運動あそびなどにより、子どもの自主性や社会性を身につけさせることができた。また、未就学児対象の「音楽リズム遊び」、「おはなし会」により子どもの運動能力や情操を高めることができた。

6. 財源の説明
【諸 取 入】 3千円 (児童館事業参加費)
【一般財源】 3,440千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,854	1,854	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	687	687	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	443	443	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	27	27	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	54	54	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	352	352	25 寄附金		
11 役務費	26	26	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	3,443	3,443

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
諸収入	20050302495	児童館事業参加者負担金	3	3

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		98	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

03款 02項 05目 001000000事業 田畑児童館管理運営経常経費

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	05	児童館費
事業	大	0015 浜児童館管理運営経常経費 (簡略番号：007261)						
	中							
	小							
事業期間		令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分		未設定		事業の種類		未設定		
補助単独区分				目的区分		民一児一その他		

財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	6,004	4,803	1,201	5,028	4,073
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	6,004	4,803	1,201	5,028	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
館長、児童厚生員2名の給与等、施設の光熱水費及び建物共済等の維持管理費並びにわくわくタイムなどの事業に要する経費。
(主なもの)
報酬 3,704千円、職員手当等 1,032千円、共済費 431千円
報償費 10千円、旅費 90千円、需用費 658千円、役務費 63千円
委託料 16千円

【必要性】
健全な遊びを通して児童の健康増進と情操を豊かにするため。
遊具の安全を確保し、児童が安心して過ごせる環境を整える。

2. 根拠法令
児童福祉法
湯梨浜町立児童館の設置及び管理に関する条例、管理運営に関する規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって 共に学び 明日を拓く ひとつづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画】 部落の完全解放の実現
SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
児童の健康増進と情操の豊かさが図られる。
【令和5年度評価】
児童の豊かな情操と健全なる心身の育成増進を図ることができた。
来館者数 R4 1,514人
R5 1,553人(11月末時点)

6. 財源の説明
【一般財源】 6,004千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,704	3,704	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	1,032	1,032	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	431	431	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	10	10	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	90	90	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	658	658	25 寄附金		
11 役務費	63	63	26 公課費		
12 委託料	16	16	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	6,004	6,004

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率
	補助金額

【実施計画】

実施計画	部	章	節	細節		99	実施計画 計上額
------	---	---	---	----	--	----	-------------

03款 02項 05目 001500000事業 浜児童館管理運営経常経費

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農業施設管理費
事業	大	0112	はわいトレーニングセンター管理経常経費	(簡略番号：010264)				
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	農一業一農業農村整備			

所属	0101012700-0000		生涯学習・人権推進課 (生涯)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,096	1,101	△5	817	924
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	244	303	△59	303
	一般財源	852	798	54	514

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
 施設の光熱水費、建物共済等の維持管理費。
 需用費 消耗品費、光熱水費、修繕料
 役務費 モップ交換、建物災害共済
 委託料 消防用設備点検、清掃委託

【事業の必要性】
 町民のスポーツを通じた健康増進とスポーツによる人材育成及び生涯スポーツの普及と推進を図るための施設として維持管理することが必要。

2. 根拠法令
 湯梨浜町農林漁業者トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例・施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
 SDGs 目標 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】 良好な施設の提供が図られる。
【令和5年度評価】
 町民のスポーツを通じた健康増進とスポーツによる人材育成及び生涯スポーツの普及と推進を図るための施設として定期的な点検、整備、清掃等、維持管理を実施し良好な施設提供に努めた。
 ・年間利用件数 (見込) 533件 (定期利用団体12団体、その他一般利用)
 ・年間利用者数 (見込) 7,147人

6. 財源の説明
【使用料】 244千円 (トレーニングセンター使用料)
【一般財源】 852千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	933	933	25 寄附金		
11 役務費	61	61	26 公課費		
12 委託料	102	102	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,096	1,096

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010301202	農林漁業者トレーニングセンタ	244	303

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部		120	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 06目 011200000事業 はわいトレーニングセンター管理経常経費

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	07	土木費	項	04	都市計画費	目	03	公園費
事業	大	0021 東郷運動公園指定管理等経費 (簡略番号：029450)						
	中							
	小							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常		
経費区分	未設定		事業の種類		未設定			
補助単独区分			目的区分	土一都一公園費				

		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財 源 内 訳	事業費	13,700	13,700		13,700	12,300
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	8,695	9,057	△362	8,861	
		5,005	4,643	362	4,839	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
 東郷運動公園を指定管理者制度により管理・運営を行う。
 (期間：令和5年4月から令和10年3月までの5年間)
 指定管理者制度は平成22年度から導入しており、今年度は4期目の2年目となる。
 指定管理委託料 13,700千円
 (事業費) 収入 計 17,450千円 (施設使用料等 指定管理委託料)
 支出 計 17,450千円 (人件費 委託費 原材料費 管理費等)

【事業の必要性】
 民間事業者の視点・経験を活かして施設の魅力を最大限に活用しながら、大会や合宿等を誘致し利用者の増加を図り、町のスポーツ振興及び観光産業等の活性化を図るため。

2. 根拠法令
 湯梨浜町都市公園条例 湯梨浜町東郷運動公園施設の設置及び管理に関する規則
 湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
 SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画】 東郷運動公園を指定管理者制度により管理・運営を行う。
【効果】 町のスポーツ振興及びスポーツを拠点とした観光産業等の活性化が図られる。
【令和5年度評価】
 コロナが5類へ移行したが、感染予防等に配慮しながら大会や合宿の誘致を行った。
 施設利用者数 (R5見込) 町内者 4,000人 町外者 24,000人 合計 28,000人
 (R4実績) 3,666人 21,864人 25,530人
 合宿利用者数 (町内旅館宿泊利用者数) (R5見込 延1,040泊 R4実績 延746泊)

6. 財源の説明
【繰入金】 8,695千円 (ふるさと湯梨浜応援基金)
【一般財源】 5,005千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	13,700	13,700	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	13,700	13,700

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010502002	運動公園使用料		1
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	8,695	9,056

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額	補助率	補助金額		

【実施計画】

実施 計画	部		135	実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

07款 04項 03目 002100000事業 東郷運動公園指定管理等経費

歳出予算事業概要書

(単位:千円)

款	07	土木費	項	04	都市計画費	目	03	公園費	
事業	大	0022 東郷運動公園管理臨時経費	(簡略番号: 030761)						
	中								
	小								
	細								
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時			
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定					
補助単独区分			目的区分	土一都一公園費					

		所属	0101012700-0000		生涯学習・人権推進課 (生涯)		
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	10,949	2,191	8,758	1,962	8,580	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	10,949	2,191	8,758	1,962		

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	<p>【事業の概要】 安全かつ計画的に施設の利用を促進するべく、電気幹線の修繕、施設管理車輛の更新を行う。</p> <p>【事業の必要性】 利用者の安全な利用、円滑な事業実施をするため、適切な維持管理が必要。</p>
2. 根拠法令	湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例 同施行規則
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	<p>【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進) SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」</p>
5. 本年度の計画効果	<p>民間事業者の視点を活かした大会や合宿の誘致などにより利用者並びに宿泊客の増加が図られる。</p> <p>【令和5年度評価】 長寿命化計画策定し、今後の運動公園の計画的な維持管理・利用者の安全かつ円滑な事業実施に資することができた。</p>
6. 財源の説明	【一般財源】 10,949千円

【事業費内訳】						
	節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01	報酬			16	公有財産購入費	
02	給料			17	備品購入費	5,339
03	職員手当等			18	負担金、補助及び交付金	
04	共済費			19	扶助費	
05	災害補償費			20	貸付金	
06	恩給及び退職年金			21	補償、補填及び賠償金	
07	報償費			22	償還金、利子及び割引料	
08	旅費			23	投資及び出資金	
09	交際費			24	積立金	
10	需用費			25	寄附金	
11	役務費			26	公課費	
12	委託料			27	繰出金	
13	使用料及び賃借料				予備費	
14	工事請負費	5,610	5,610			
15	原材料費				合計	10,949
						10,949

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】				
補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】				
実施計画	部		135	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

07款 04項 03目 002200000事業 東郷運動公園管理臨時経費

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事業	大	0010	社会教育総務経常経費	(簡略番号：014855)				
事業	中							
事業	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費			事業の種類 未設定				
補助単独区分				目的区分	教一社会教育費			

		所属	0101012700-0000		生涯学習・人権推進課 (生涯)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算		
事業費	2,681	2,501	180	1,591	3,354		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	2,681	2,501	180	1,591		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【概要】

生涯学習・人権推進課が行う社会教育事業推進のため、事務局職員として関係業務を行う会計年度任用職員1人の給与等を計上するもの。

【必要性】

生涯学習・人権推進課が行う事業推進の確実な遂行のために、人的措置が必要である。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果

【計画】

社会教育計画実施事業を行う。

【効果】

社会教育事業全般にかけて、着実な事業実施が図られる。

【令和5年度評価】

社会教育全般の事務補助により円滑な事業・事務の遂行が図れた。

6. 財源の説明

【一般財源】2,681千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,805	1,805	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	441	441	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	386	386	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	24	24	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	16	16	25 寄附金		
11 役務費	9	9	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	2,681	2,681
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		154	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 01目 001000000事業 社会教育総務経常経費

令和6年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位:千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
事業	大	0012	二十歳のつどい開催費 (簡略番号: 014874)						
	中								
	小								
事業期間		令6.4.1~令7.3.31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分		未設定			事業の種類			未設定	
補助単独区分					目的区分		教一社会教育費		

所属		0101012700-0000			生涯学習・人権推進課(生涯)		
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	498	615	△117	615	539	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	498	615	△117	615		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
令和7年二十歳のつどい（平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの町内在住者または町内小中学校卒業生、約167人を対象に令和7年1月3日ハワイアロハホールで実施予定）に要する経費。
（主なもの）
報償費 5千円（託児謝金）
需用費 192千円（記念品代、しおり印刷、生花等）
役務費 34千円（郵便代）
委託料 267千円（記念写真代）

【事業の必要性】
20歳という年齢は、飲酒や喫煙を含めすべての年齢制限がなくなる節目の年齢であり、自分に責任を持つことのできる自立した社会人として成長した青年を町全体で祝い励まし、なつかしい仲間と顔を合わせることで、ふるさとへの愛着を育む機会とする。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
167人を対象に令和7年1月3日ハワイアロハホールで「二十歳のつどい」を開催する。
【事業の効果】
20歳という節目の年に、自分に責任を持つことのできる社会人として成長した青年を祝い励ます会を開催し、懐かしい仲間と会うことで、ふるさとへの愛着を育むことができる。
【令和5年度事業評価】
令和6年二十歳のつどいを令和6年1月3日に開催した。対象者207人に対し145人が出席し、20歳という節目の年を祝うことができた。

6. 財源の説明
【一般財源】 498千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	5	5	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	192	192	25 寄附金		
11 役務費	34	34	26 公課費		
12 委託料	267	267	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	498	498

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		154	実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

09款 04項 01目 001200000事業 二十歳のつどい開催費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業	大 0014 家庭・地域教育推進事業 (簡略番号：014891)	中		小	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)				
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
財源内訳	事業費	426	351	75	267	17
	国庫支出金					
	県支出金	284	234	50	166	
	地方債					
	その他					
一般財源	142	117	25	101		

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 町教育委員会が推進する「湯梨浜町子育て・親育ち10か条」の啓発、家庭教育講座の開催、家庭教育支援チームによる地域の居場所づくりや保護者同士の交流を行う。
【事業の必要性】
 家庭教育支援チームによる遊びの場の提供や子育て講座を行うことで、地域の居場所づくりや保護者同士の交流、学習機会の提供を図ることができる。また、「基本的な生活習慣」「規範意識」等社会生活での基礎を家庭で身につけるための家庭教育について意識啓発を図る必要がある。
 2. 根拠法令
 社会教育法
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり (地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 家庭教育支援チームによる月1回の遊びの場の提供と年3回の子育て講座、子ども会育成者に対する家庭教育講座、「湯梨浜町子育て・親育ち10か条」の啓発
【事業の効果】
 家庭教育支援チームによる遊びの場の提供や子育て講座により、地域の居場所づくりや保護者同士の交流、学習機会の提供を図ることができる。また、家庭教育についての意識啓発及び町教育委員会が推進する「湯梨浜町子育て・親育ち10か条」の啓発が図られる。
【令和5年度事業評価】
 家庭教育支援チームを組織化し、月1回の遊びの場の提供をすることで地域の居場所づくりを推進することができた。また、子育て講座など学習機会を提供することができた。
 6. 財源の説明
【県補助金】 284千円(学校・家庭・地域連携協力推進事業(家庭教育支援基盤構築事業))
【一般財源】 142千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	386	386	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	34	34	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	6	6	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	426	426

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020803422	学校家庭地域連携協力推進事業	284	234

【補助金】

補助金等の名称	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金				
補助基本額	426	補助率	66.6%	補助金額	284

【実施計画】

実施計画	部		155	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 01目 001400000事業 家庭・地域教育推進事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業	大 0205 町女性団体連絡協議会補助金	(簡略番号：015226)			
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012700-0000		生涯学習・人権推進課(生涯)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	243	243		243	243
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	243	243		243

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

町内の各種女性団体で構成する、湯梨浜町女性団体連絡協議会の運営に要する経費の補助を行う。

主な活動：女性フォーラムの開催、広報紙「白鳥」作成、クリーン活動、国際交流、視察研修、町長と語る会

補助金 243,000円

【必要性】

町内女性の資質向上と地域社会の発展に寄与するため。

2. 根拠法令

社会教育法

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)
SDGs 目標5「ジェンダー平等を実現しよう」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

女性フォーラムの開催、広報紙「白鳥」の作成、町事業等への協力、各支部の活動、視察研修、町長と語る会など

【事業の効果】

町内女性の活動支援と地域社会の発展に資することができる。

【R5年度事業評価】

町女性団体主催の女性フォーラム、町事業への協力、広報紙「白鳥」の作成及び各種研修活動を支援することで、女性の地域社会での活躍を推進することができた。

6. 財源の説明

【一般財源】 243千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	243	243
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	243	243

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		155	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 01目 020500000事業 町女性団体連絡協議会補助金

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)	
事業	大	0208	全国大会等派遣補助金	(簡略番号：015234)								
	中											
	小											
	細											
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時					
経費区分	未設定			事業の種類	未設定							
補助単独区分				目的区分	教一社会教育費							

区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	400	400		400	576
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	400	400		400

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
 スポーツ又は文化に係る全国規模の大会に参加する選手・演奏者・指導者等に対し、参加費・交通費、宿泊費を補助対象経費として、補助金の交付を行う。

補助金 400,000円 (全国大会：補助金上限一人当たり20,000円 20人予定)

【事業の必要性】
 本町社会教育及び社会体育の振興発展に寄与するため。
 全国規模の大会に出場する者への経済的負担を軽減し、町として応援、支援するため。

2. 根拠法令
 湯梨浜町全国大会等派遣補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
 SDGs 目標 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
 大会へ参加する者の経済的負担を軽減し、大会等に参加しやすい環境整備を図ることで本町社会教育及び社会体育の振興発展に資することができる。
【令和5年度評価】
 小、中学生を中心に3競技、10名の全国大会出場者に対し補助金を交付し大会等に参加しやすい環境整備を図ることができた。(11月末時点)
 令和5年度末 見込 8競技 21名 400千円 R4年度 8競技 32名
 R3年度 7競技 28名

6. 財源の説明
【一般財源】 400千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	400	400
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	400	400

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		155	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 01目 020800000事業 全国大会等派遣補助金

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業	大 0211 放課後子ども教室推進事業 中 小 細	(簡略番号：040369)			
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)				
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
財源内訳	事業費	2,855	2,529	326	1,377	1,181
	国庫支出金					
	県支出金	1,903	1,686	217	917	
	地方債					
	その他					
一般財源	952	843	109	460		

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 町内で放課後子ども教室を開設。東郷地域2箇所（舎人、大介）、羽合地域3箇所（長瀬、東田後、橋津）、泊地域1箇所（宇谷）の計6教室を開設し、各教室に学習アドバイザー、安全管理員を配置して取り組む。事業に係る経費の2/3が県補助金。
【事業の必要性】
 公民館等を活用し、子ども達の安全な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等の取組みを行い、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するために実施する。
 2. 根拠法令
 社会教育法
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 東郷地域2箇所（舎人、大介）、羽合地域3箇所（長瀬、東田後、橋津）、泊地域1箇所（宇谷）の計6教室を開設する。
【事業の効果】
 子ども教室の開設を行い、活動拠点（居場所）の確保、放課後等の学習指導、自然体験活動支援、文化活動支援など子ども達の放課後活動の充実とともに、地域社会全体で様々な教育支援活動の実施により、地域の教育力の向上が図られる。
【R5年度評価】
 新型コロナウイルスの影響により東田後区寺子屋教室は休止しているが、今年度は新たに泊地域で放課後子ども教室を開設し、5教室で放課後等の見守りや家庭学習支援の環境作り、体験活動の充実を図ることができた。
 6. 財源の説明
【県補助金】 1,903千円 (学校・家庭・地域連携協力推進事業 (放課後子ども教室))
【一般財源】 952千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	2,717	2,717	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	138	138	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,855	2,855

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020803030	学校家庭地域連携協力推進事業	1,903	1,686

【補助金】

補助金等の名称	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金				
補助基本額	2,855	補助率	66.6%	補助金額	1,903

【実施計画】

実施計画	部		155	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 01目 021100000事業 放課後子ども教室推進事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費
事業	大	0010	中央公民館管理運営経常経費 (簡略番号：015325)					
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一社会教育費				

所属	0101012800-0000		中央公民館		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	9,812	10,529	△717	10,365	10,257
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	742	478	264	816
	一般財源	9,070	10,051	△981	9,549

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 施設の保守点検及び修繕、警備員等賃金、施設の光熱水費等の維持管理費利用者への良好な施設提供をするための備品購入費等
【事業の必要性】
 生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に施設を提供するため。
【実施期間】 令和 6 年度
【全体事業費】 9,812千円

2. 根拠法令
 社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第 4 次総合計画】
 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり (地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標 4 「質の高い教育をみんなに」
 目標 11 「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【計画】 施設の維持管理を行う。
【効果】 生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。
【令和 5 年度評価】
 施設の保守点検や修繕等維持管理を行い、社会教育活動の場所及び地域の拠点施設として、多くの利用者に良好な施設の提供を行った。

6. 財源の説明
【使用料】 547千円 (中央公民館使用料)
【諸収入】 177千円 (中央公民館雑入)
【諸収入】 18千円 (自動販売機電気使用料)
【一般財源】 9,070千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,136	3,136	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	687	687	18 負担金、補助及び交付金	6	6
04 共済費	421	421	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	24	24	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,622	2,622	25 寄附金		
11 役務費	712	712	26 公課費		
12 委託料	1,854	1,854	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	350	350	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	9,812	9,812

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602001	中央公民館使用料	547	317
諸収入	20050302011	中央公民館雑入	177	143
諸収入	20050302474	自動販売機使用電気料 (中央公	18	18

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		156	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 001000000事業 中央公民館管理運営経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費	
事業	大	0014 中央公民館全体事業 (簡略番号：033666)						中	
	中							小	
	細								
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続		継続		臨・経	経常	
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定					
補助単独区分			目的区分	教一社会教育費					

所属		0101012800-0000		中央公民館		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
事業費	1,053	1,053		965	817	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,053	1,053		965	

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
【事業概要】
 60歳以上の町民を対象とした「湯梨浜文化大学」や「囲碁・将棋大会」、「ゆりはま文化芸能祭(住民作品展・芸能大会)」等を実施し、住民参加による事業の推進とコミュニティ形成の支援を行う。
【事業の必要性】
 町民全体を対象とした教育や文化に関する各種事業を実施し、住民の交流や文化の向上等を図るため必要である。
【実施期間】 令和6年度
【全体事業費】 1,053千円
- 根拠法令
 社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例
- 用地の状況
- 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに」
 目標11 「住み続けられるまちづくりを」
- 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 湯梨浜文化大学…全体学習及び趣味コース(グラウンド・ゴルフ等)の開催。
 ゆりはま文化芸能祭…文化芸能の発表の場として、住民作品展・芸能大会を開催。
 囲碁・将棋大会…囲碁・将棋の愛好者を募り年1回開催する。
【令和5年度評価】
 湯梨浜文化大学(会員数263人)
 住民作品展(11/15～11/23開催 608人 838点出展)
 芸能大会(11/19開催 30団体 163人出演)
 囲碁・将棋大会(8/6開催 24人参加)
- 財源の説明
【一般財源】 1,053千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	870	870	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	100	100	25 寄附金		
11 役務費	83	83	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,053	1,053

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		157	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 001400000事業 中央公民館全体事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	02 公民館費
事業	大 0016 東郷地域各種事業 (簡略番号：015379)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012800-0000	中央公民館			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	5,839	4,291	1,548	3,129	3,609
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,839	4,291	1,548	3,129

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 社会教育を充実させるため、地域活性化推進員と連携し、中央公民館を拠点として東郷地域を対象とした教室や講座、講演会等を実施し、町民に学習の場を提供する。
 東郷地域公民館運営委員会を開催し、各種事業の企画実施について協議・検討を行う。
 活性化推進員4人、成人教育34回、家庭・青少年教育5回、体育・レクリエーション11回
 出前講座 4地区×4回

【事業の必要性】
 町民のニーズを把握しながら実生活に即した教育や文化等に関する各種事業を実施し、もって住民の教養や交流促進を図るため。

【実施期間】 令和6年度
【全体事業費】 5,839千円

2. 根拠法令
 社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 成人教育…伝統文化の継承や心豊かにする趣味講座、健康教室等楽しく学習する。
 家庭・青少年教育…家庭教育や自然体験等を実施し、地域で青少年を育てる。
 体育・レクリエーション…誰でも気軽に参加できるスポーツ教室等を開催する。
 出前講座…各地区において、各種講座等を開催し、地域住民の交流促進を図る。
【事業の効果】 住民の教養等の向上及び生活文化の振興が図られる。
【令和5年度評価】 住民の関心が高い「健康」や「趣味」などを中心とした事業を実施。また、東郷小学校児童を対象とした教室を開催し社会教育の充実を図った。

6. 財源の説明
【一般財源】 5,839千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,764	3,764	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	1,289	1,289	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	16	16	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	638	638	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	53	53	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	66	66	25 寄附金		
11 役務費	13	13	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	5,839	5,839

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部		157	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 001600000事業 東郷地域各種事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	02 公民館費
事業	大 0032 文化団体協議会等補助金 (簡略番号：015422)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012800-0000	中央公民館			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	422	382	40	382	476
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	100	80	20	117
	地方債				
	その他				
一般財源	322	302	20	265	

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 加盟文化サークル等の活動に要する費用の助成、加盟団体相互の学習、会員拡大事業、住民作品展・芸能大会の開催、協議会たよりの発行を行うものである。
【事業の必要性】
 地域における文化の振興育成、普及、向上並びに各種文化団体相互の連携と親睦を図り地域の文化発展に寄与する。
【実施期間】 令和6年度
【全体事業費】 422千円
 2. 根拠法令
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）
 SDGs 目標11「住み続けられるまちづくりを」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ゆりはま文化芸能祭の開催予定（住民作品展11/15～11/21、芸能大会11/19）
 協議会たよりの発行（3月予定） 会員研修（年2回予定）
【事業の効果】
 地域の文化団体の活動を支援することにより、住民の社会参加、文化振興に寄与することができる。
【令和5年度評価】
 各サークル等の日頃の活動の発表の場として、ゆりはま文化芸能祭実施することにより、地域の文化発展に寄与することができた。
 会員拡大促進事業を実施し協議会の活性化を図った。R5.12時点 37団体
 6. 財源の説明
【県支出金】 100千円（市町村創生交付金）
【一般財源】 322千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	422	422
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	422	422

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020803210	市町村創生交付金（文化団体協	100	80

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金（文化団体協議会育成補助金）				
補助基本額	422	補助率	23.7%	補助金額	100

【実施計画】

実施計画	部		158	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 003200000事業 文化団体協議会等補助金

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費
事業	大	0110	羽合分館管理運営経常経費	(簡略番号：015455)				
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一社会教育費			

所属	0101012800-0000		中央公民館		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	7,322	6,509	813	6,623	6,097
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	424	307	117	394
	一般財源	6,898	6,202	696	6,229

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 会計年度任用職員・警備員報酬並びに施設の光熱水費及び館内清掃・修繕などの維持管理費。
【事業の必要性】
 生涯学習及び社会教育の拠点として良好に施設を提供するため。
【実施期間】 令和6年度
【全体事業費】 7,322千円

2. 根拠法令
 社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】 施設の維持管理を行う。
【事業の効果】 生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。また、町民が集いやすい施設として、コミュニティ機能を強化する。
【令和5年度評価】 施設の保守点検や修繕等維持管理を行い、社会教育活動の場所及び地域の拠点施設として、多くの利用者に良好な施設の提供を行うことができた。

6. 財源の説明
【使用料】 354千円（中央公民館羽合分館使用料）
【諸収入】 70千円（中央公民館雑入）
【一般財源】 6,898千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,800	2,800	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	682	682	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	420	420	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	41	41	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,178	2,178	25 寄附金		
11 役務費	126	126	26 公課費		
12 委託料	958	958	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	117	117	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	7,322	7,322

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602201	中央公民館羽合分館使用料	354	263
諸収入	20050302011	中央公民館雑入	70	44

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部		158	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 011000000事業 羽合分館管理運営経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費	
事業	大	0116	羽合地域各種事業 (簡略番号：015506)					02	公民館費
	中								
	小								
	細								
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常			
経費区分	未設定		事業の種類	未設定					
補助単独区分			目的区分	教一社会教育費					

所属		0101012800-0000		中央公民館	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	9,686	6,849	2,837	6,317	6,237
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	9,686	6,849	2,837	6,317

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 羽合地域の社会教育・生涯学習を充実させるため、中央公民館羽合分館を拠点として地域活性化推進員と連携し、各種の教室や講座、講演会等を実施し、町民に学習の場を提供する。
 活性化推進員7人、成人教育16回、家庭・青少年教育14回、体育・レクリエーション8回、出前講座28回。

【事業の必要性】 地域・町民のニーズを把握しながら、教育や文化に関する各種事業を実施し、教養を養ったり地域住民の交流促進を図るものである。

【実施期間】 令和6年度
【全体事業費】 9,686千円

2. 根拠法令
 社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり (地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 成人教育：心豊かにする趣味講座、健康教室など楽しく学習する。
 家庭・青少年教育：体験学習、自然体験などを実施し、地域で青少年を育てる。
 体育・レク：誰でも気軽にできるスポーツ、健康教室などを開催する。
 出前講座：各地区において各種講座などを実施し、地域住民の交流促進を図る。
【事業の効果】 住民の教養等の向上及び生活文化の振興が図られる。
【令和5年度評価】 コロナ禍において十分な対策をとりながら住民の関心度の高い「健康」「趣味」等を中心とした事業を実施し、社会教育の充実が図られた。

6. 財源の説明
【一般財源】 9,686千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	6,586	6,586	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	2,345	2,345	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	24	24	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	565	565	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	74	74	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	77	77	25 寄附金		
11 役務費	15	15	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	9,686	9,686

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

158

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	02 公民館費
事業	大 0210 泊分館管理運営経常経費 (簡略番号：015595)	新規・継続	継続	臨・経	経常
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	経費区分	未設定	事業の種類	未設定
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012800-0000	中央公民館			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	10,363	9,434	929	8,815	7,739
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	262	384	△122	242
	一般財源	10,101	9,050	1,051	8,573

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 泊分館での公民館事業を行い、社会教育活動の拠点として施設の利用提供を行う。
 会計年度任用職員、警備員報酬、光熱水費、警備委託や清掃委託などの維持管理経費。
【事業の必要性】
 生涯学習及び社会教育の拠点として良好に施設を提供する。
【実施期間】 令和6年度
【全体事業費】 10,363千円
 2. 根拠法令
 社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり生涯にわたる学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに」
 目標11 「住み続けられるまちづくりを」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 泊地域の生涯学習及び社会教育の拠点施設として、公民館活動を展開及び推進する。
【事業の効果】
 生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。また、町民が集いやすい施設として、コミュニティー機能を強化する。
【令和5年度評価】
 泊分館で公民館事業を実施し、社会教育活動の場所及び、地域の拠点施設として、利用者に良好な施設の提供を行うことができた。
 6. 財源の説明
【使用料】 140千円 (中央公民館泊分館使用料)
【諸収入】 101千円 (中央公民館雑入)
【諸収入】 21千円 (自動販売機電気使用料)
【一般財源】 10,101千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,900	3,900	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	687	687	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	404	404	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	78	78	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,598	2,598	25 寄附金		
11 役務費	379	379	26 公課費	7	7
12 委託料	1,824	1,824	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	486	486	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	10,363	10,363

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602402	中央公民館泊分館使用料	140	173
諸収入	20050302011	中央公民館雑入	101	162
諸収入	20050302473	自動販売機使用電気料(泊体育)	13	13
諸収入	20050302475	自動販売機使用電気料(中央公)	8	36

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		159	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 021000000事業 泊分館管理運営経常経費

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	02 公民館費	所属	0101012800-0000 中央公民館	
事業	大	0212 泊地域各種事業 (簡略番号：015658)						
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一社会教育費				

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
		事業費	1,664	1,241	423	1,311
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,664	1,241	423	1,311	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 社会教育の充実及び地域コミュニティを高めていくため、泊分館を拠点に泊地域における各種の教室や講座、講演会等を実施するものである。活性化推進員1人。成人教育16事業(17回)、家庭・青少年教育4事業(4回)、体育・レク事業5事業(7回)、出前講座4回。
【事業の必要性】
 実生活に即した教育や文化に関する各種事業を実施し、もって住民の教養や地域住民の交流促進を図るものである。
【実施期間】 令和6年度
【全体事業費】 1,664千円

2. 根拠法令
 社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例。

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに」
 目標11 「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 地域活性化推進員、公民館運営委員と連携し、さらなる事業推進と活性化を図る。
 ・成人教育:心豊かにする講座等楽しく学習する。
 ・家庭・青少年教育:自然体験などを実施し、地域の青少年を育てる。
 ・体育・レク:誰でも気軽にできるスポーツ教室等を開催する。
【事業の成果】
 住民の教養等の向上及び生活文化の振興が図られる。
【令和5年度評価】
 住民の関心度の高い趣味等を中心とした事業を実施し、社会教育の充実が図られた。

6. 財源の説明
【一般財源】 1,664千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	941	941	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	354	354	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	3	3	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	315	315	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	8	8	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	35	35	25 寄附金		
11 役務費	8	8	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,664	1,664

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		160	実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

09款 04項 02目 021200000事業 泊地域各種事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費
事業	大	0264	湯梨浜みんなのげんき館事業	(簡略番号：043358)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一社会教育費			

所属		0101012800-0000		中央公民館	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	22,689	65,817	△43,128	9,427	15,881
財源内訳	国庫支出金	7,034	29,942	△22,908	4,220
	県支出金				
	地方債		15,400	△15,400	
	その他	925	1,391	△466	738
	一般財源	14,730	19,084	△4,354	4,469

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】 町民一人一人が日常的に適度な運動を習慣づけるきっかけとして、湯梨浜みんなのげんき館のトレーニング器具を活用し、子ども、働く世代、女性そして高齢者まで幅広い世代の町民に運動・スポーツに参加できる機会を提供する。
【事業の必要性】 フレイル予防など気軽に運動・スポーツに親しむことのできる環境を整備し、各種運動教室等の参加者を増やすことで、スポーツを通して生活習慣病の克服と健康寿命の延伸を目指す。
【事業の内容】 (主なもの)
 ・運動指導員報酬、協力隊活動費等
 ・運動教室等の開催
 ・スタジオプログラムの実施
 ・町民スポーツ活動支援事業補助金
 ・「スポーツの日」及び「スポーツに親しむ日」イベント開催

2. 根拠法令
 湯梨浜みんなのげんき館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画】 湯梨浜みんなのげんき館の活用、「ゆりはまスポーツの日」の開催などを行う。
【効果】 運動・スポーツの習慣化を促進し健康課題の解決に向けた全町的な取り組みにつなげることができる。
【令和5年度評価】 湯梨浜みんなのげんき館を開館し、運動・スポーツに親しむ環境を提供することができた。新たにスタジオプログラム事業を開始しマシントレーニング以外のトレーニングメニューを増やし町民の運動・スポーツ習慣化を促進した。

6. 財源の説明
【国庫支出金】 7,034千円 (デジタル田園都市国家構想交付金)
【使用料】 747千円 (げんき館使用料)
【諸収入】 178千円 (げんき館雑入 教室参加費等)
【一般財源】 14,730千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,992	1,992	16 公有財産購入費		
02 給料	3,999	3,999	17 備品購入費	1,246	1,246
03 職員手当等	1,862	1,862	18 負担金、補助及び交付金	3,243	3,243
04 共済費	1,264	1,264	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	605	605	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	91	91	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	624	624	25 寄附金		
11 役務費	298	298	26 公課費		
12 委託料	6,755	6,755	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	710	710	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	22,689	22,689

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101246	デジタル田園都市国家構想交付	7,034	29,942
使用料	13010602411	湯梨浜みんなのげんき館使用料	747	997
諸収入	20050302699	湯梨浜みんなのげんき館雑入	178	394
地方債	21010603022	一般補助施設整備等事業債(ト)		15,400

【補助金】

補助金等の名称	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)				
補助基本額	14,069	補助率	50.0%	補助金額	7,034

【実施計画】

実施計画	部		160	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 026400000事業 湯梨浜みんなのげんき館事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費
事業	大	0265	運動・スポーツ習慣化促進事業	(簡略番号：043888)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一社会教育費			

所属	0101012800-0000		中央公民館		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,658	4,550	△892	3,814	3,845
財源内訳	国庫支出金	3,544	4,437	△893	3,758
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	114	113	1	56

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
 羽合小の児童を対象に体育授業の一環としてオリンピック等から直接子どもたちが実技指導を受け、スポーツの大切さやインフルエンサーの役割を学んだのち、キッズ健幸アンバサダー（以下「KA」）として認定を受ける。
 認定を受けた子どもたちは、自分の祖父母や地域の高齢者と一緒に体を動かしたり、スポーツの大切さを伝えることでスポーツ実施率の向上を図りスポーツによる健康づくりを促進するものである。

【事業内容】

- ・KA事業実行委員会委員謝金 15千円
- ・事業報告会参加旅費 145千円
- ・消耗品費（参加記念品含む） 228千円
- ・通信運搬費 12千円
- ・KA養成講座運営及び評価業務委託 3,258千円

2. 根拠法令
 スポーツ基本法

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 （生涯にわたる健やかな体力づくりと運動、スポーツの推進）
 SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画】 KAを養成し、家族や高齢者等に健康に関する情報を伝える。
【効果】 スポーツが苦手な子どもたちもスポーツを始めるきっかけとなることが期待される。家族や高齢者等に伝えることで、スポーツ実施により介護予防を目指した運動・スポーツの習慣化が期待される。

【令和5年度評価】
 羽合小学校でKAの養成講座を行うとともに、高齢者を招いての交流会や、親・祖父母・地域の高齢者に健康に関するアンケートを行った。

6. 財源の説明
【国庫支出金】 3,544千円（地方スポーツ振興費補助金） **【一般財源】** 114千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	15	15	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	145	145	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	228	228	25 寄附金		
11 役務費	12	12	26 公課費		
12 委託料	3,258	3,258	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	3,658	3,658

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020503017	地方スポーツ振興費補助金	3,544	4,437

【補助金】

補助金等の名称	地方スポーツ振興費補助金				
補助基本額	3,544	補助率	100.0%	補助金額	3,544

【実施計画】

実施計画	部		161	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	03 図書館費
事業	大 0001 図書館経常経費 (簡略番号：015795)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属		0101012900-0000		図書館	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	18,511	17,590	921	17,519	16,721
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	4	4		4
	一般財源	18,507	17,586	921	17,515

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町立図書館の運営・維持管理に要する経費
【事業の必要性】
 社会、経済、歴史、文学、児童図書、郷土資料などの資料・情報提供や、町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献するため、また、青少年をはじめとする住民の読書活動を支援するために必要である。
【事業の内容】
 報酬等 会計年度任用職員に係る経費
 需用費 雑誌購入、光熱水費、修繕費
 役務費 電話代、インターネットサービス利用料
 賃借料 図書館システム使用料
 備品購入費 図書購入

2. 根拠法令
 湯梨浜町立図書館設置条例、湯梨浜町立図書館管理運営規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次町総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
 町民の学習意欲を促進し、豊かな地域社会の実現に貢献することができる。また、文字・活字文化振興法の趣旨に沿った青少年をはじめ住民の読書活動の促進が図られる。
【令和5年度評価】
 利用者のニーズに沿った資料を購入し充実を図りながら、利用しやすい施設となるよう管理運営することができた。
 町立図書館の一般利用者数 11,747人 一般貸出冊数 45,743冊 (R5.10月末現在)

6. 財源の説明
【諸収入】 4千円
【一般財源】 18,507千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,928	3,928	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	4,700	4,700
03 職員手当等	1,471	1,471	18 負担金、補助及び交付金	28	28
04 共済費	904	904	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	104	104	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,851	2,851	25 寄附金		
11 役務費	954	954	26 公課費		
12 委託料	782	782	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	2,789	2,789	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	18,511	18,511

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
諸収入	20050302490	コピー代（図書館）	4	4

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		161	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 03目 000100000事業 図書館経常経費

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	03 図書館費
事業	大 0002 図書館臨時経費 (簡略番号：015829)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012900-0000	図書館			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,427	2,068	359	2,340	3,964
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債		1,800	△1,800	1,400
	その他				
一般財源	2,427	268	2,159	940	

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 - 【事業の概要】
町立図書館の維持管理のため修繕等を行う
 - 【事業の必要性】
図書館利用者に安心・安全な施設を提供するため
 - 【事業の内容】
図書館照明灯修繕工事
非常通報装置設置工事
公用車新規購入
- 根拠法令
湯梨浜町立図書館設置条例、管理運営規則
- 用地の状況
- 基本計画との関連
 - 【第4次総合計画】 志をもって共に学ぶ明日を拓くひとづくり（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
- 本年度の計画効果
 - 【本年度の事業内容】
図書館設備の安全で安定した整備、効率的な施設管理を行い、利用者に良好な空間を提供できる。
 - 【令和5年度評価】
雨樋補修工事、回転式書架の購入により、利用者に良好な施設環境を提供することができた。
- 財源の説明
 - 【一般財源】 2,427千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	1,371	1,371
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	581	581	25 寄附金		
11 役務費	61	61	26 公課費	13	13
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	401	401			
15 原材料費			合計	2,427	2,427

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010603020	過疎対策事業債（図書館整備事		1,800

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		162	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 03目 000200000事業 図書館臨時経費

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	03 図書館費
事業	大 0114 羽合図書館事業 中 小 細	(簡略番号：015878)			
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

		所属		0101012900-0000	図書館	
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	4,601	4,221	380	4,133	3,351
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,601	4,221	380	4,133	

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 新聞・雑誌購入費及び図書検索システム保守経費並びに会計年度任用職員(1名)報酬、光熱水費及び建物共済等の施設の維持管理費。
【事業の内容】
 報酬等 会計年度任用職員
 需用費 雑誌・新聞等の購入 光熱水費
 賃借料 図書館システム
【事業の必要性】
 社会、経済、歴史、文学、児童図書、郷土資料など必要な資料・情報を提供し、町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献するため及び青少年をはじめとする住民の読書活動を支援するために必要である。
 2. 根拠法令
 湯梨浜町羽合図書館利用規程
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとつづくり(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
 5. 本年度の計画効果
 町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献することができる。また、文字・活字文化振興法の趣旨に沿った青少年をはじめとする住民の読書活動の促進が図られる。
【令和5年度評価】
 利用者のニーズに沿った資料を購入し充実を図りながら、利用しやすい施設となるよう管理運営することができた。
 羽合図書館の一般利用者数 R5.10月末現在 3,510人
 一般貸出冊数 R5.10月末現在 15,291冊
 6. 財源の説明
【一般財源】 4,601千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,964	1,964	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	736	736	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	424	424	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	737	737	25 寄附金		
11 役務費	24	24	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	716	716	予備費		
14 工事請負費			合計	4,601	4,601
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	補助率	補助金額
補助基本額		

【実施計画】

実施計画	部		163	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 03目 011400000事業 羽合図書館事業

歳出予算事業概要書

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	03 図書館費
事業	大 0202 しおさいプラザ経常経費 (簡略番号：019973)				
中					
細					
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	5,784	5,141	643	5,304	4,745
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	5,784	5,141	643	5,304		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
新聞・雑誌購入費及び図書検索システム保守経費並びに光熱水費及び建物共済等の施設の維持管理費。
(主なもの) 報酬 会計年度任用職員
需用費 新聞・雑誌の購入 光熱水費
委託料 機械警備 館内清掃 消防設備点検
賃借料 図書館システム

【事業の必要性】
社会、経済、歴史、文学、児童図書、郷土資料など必要な資料・情報を提供し、町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献するため及び青少年をはじめとする住民の読書活動を支援するために必要である。

2. 根拠法令
しおさいプラザとまり設置条例、しおさいプラザとまり管理運営規

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)
SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
【過疎地域自立促進計画】

5. 本年度の計画効果
町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献することができる。また、文字・活字文化振興法の趣旨に沿った青少年をはじめとする住民の読書活動の促進が図られる。
【令和5年度評価】
利用者のニーズに沿った資料を購入し充実を図りながら、利用しやすい施設となるよう管理運営することができた。
しおさいプラザとまり 一般利用者数 R5.10月末現在 3,062人
一般貸出冊数 R5.10月末現在 12,905冊

6. 財源の説明
【一般財源】5,784千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,964	1,964	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	736	736	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	464	464	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	86	86	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	1,031	1,031	25 寄附金		
11 役務費	225	225	26 公課費		
12 委託料	362	362	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	916	916	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	5,784	5,784

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		163	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	04	青少年育成対策費	
事業		大 0031		青少年育成町民会議補助金		(簡略番号：015915)			
		中							
		小							
		細							
事業期間		令 6. 4. 1~令 7. 3. 31		新規・継続		継続			
経費区分		未設定		事業の種類		未設定			
補助単独区分				目的区分		教一社会教育費			

所属		0101012700-0000		生涯学習・人権推進課 (生涯)		
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	450	300	150	300	170
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源		450	300	150	300	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町内の各機関・団体代表で組織する青少年育成湯梨浜町民会議の運営に要する経費の補助。子どもの健全育成、保護者への子育て・家庭教育支援としての研修等を行う。
【具体的な取組み】
 青少年育成町民研修会、スタンプラリーハイク、直接体験事業及び子ども会リーダー研修会の開催、夏祭り等における補導、高校生あいさつ・交通マナー運動等を実施。補助金 450,000円
【事業の必要性】
 次世代を担う青少年の健全育成に地域が一丸となって取り組むよう、町内で意識啓発を図り、具体的な取組みを実施するため。

2. 根拠法令
 社会教育法

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 総会、青少年育成町民研修会、スタンプラリーハイク、ポニー乗馬体験 (年2回)、自然観察会、子ども会リーダー研修会の開催、並びに夏祭り等における補導、高校生あいさつ・交通マナー運動を実施する。
【事業の効果】
 地域ぐるみで青少年健全育成の取組みを推進することができる。
【令和5年度事業評価】
 スタンプラリーハイクや直接体験活動など、親子での参加により家庭教育の推進が図られた。また、登録型の学生ボランティア募集を実施し、町民会議のイベントのみならずさまざまな町のイベントへ中高生の参画が得られた。

6. 財源の説明
【一般財源】 450千円

【事業費内訳】

	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	450	450
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	450	450

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称		補助率	補助金額
補助基本額			

【実施計画】

実施計画	部	164	実施計画計上額
	章		
	節		

09款 04項 04目 003100000事業 青少年育成町民会議補助金

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	05 青少年の家費
事業	大 0210 青少年の家管理経常経費 (簡略番号：015922)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属		0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	441	52	389	52	110
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	441	52	389	52

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 - 【事業の概要】
施設自体は用途廃止したため、使用することはないが、最低限の維持管理が必要。
 - 【事業の必要性】
青少年の家前の階段にある外灯の1年間分の電気料金と建物を解体するまでは建物災害共済の掛金、修繕料が必要。また、周辺の法面の下は通学路になっているため環境整備が必要。
- 根拠法令
湯梨浜町立青少年の家の設置及び管理に関する条例
- 用地の状況
- 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)
SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
- 本年度の計画効果
 - 【本年度の計画】
施設としては使用しないが、最低限の維持管理と周辺の環境整備を行う。
 - 【事業の効果】
外灯の維持管理をすることで階段を安全に使用することができ、また、周辺の環境整備を行うことで安全に通学することができる。
 - 【R5年度事業評価】
青少年の家前の階段にある外灯の維持管理を行った。
- 財源の説明
【一般財源】441千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	23	23	25 寄附金		
11 役務費	49	49	26 公課費		
12 委託料	369	369	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	441	441

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		164	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 05目 021000000事業 青少年の家管理経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	06	文化振興費
事業	大	0010	文化財保護経常経費 (簡略番号：015978)					
	中							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一社会教育費				

所属	0101012700-0000		生涯学習・人権推進課 (生涯)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	190	661	△471	606	110
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	60	239	△179	226
	一般財源	130	422	△292	380

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】 郷土に対する理解と愛着を育成するため、歴史講演会、歴史民俗資料館展示解説、文化財見学会、小中学校ふるさと学習、子ども向けの体験事業等を実施する。
 ・報償費 講師謝金 ・普通旅費 文化庁等との協議
 ・需用費 資料作成等 ・役務費 郵券料
【事業の必要性】 町の貴重な財産である有形・無形の文化財について周知し、文化財への理解を深めることで、郷土に対する愛着を育成するため。

2. 根拠法令
 文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとつづくり (文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 歴史講演会、歴史民俗資料館展示解説、文化財見学会、小中学校ふるさと学習、公民館との連携事業等の実施。文化財の保存修理に係る文化庁協議。
【事業の効果】
 町内の貴重な文化財について、町民の理解と愛着の促進が図られるとともに、町外者にも町の魅力をPRできる。
【令和5年度事業評価】
 羽衣石城関係の歴史講演会、県指定になった岡本家文書の展示、博物館の企画展見学会、歴史民俗資料館展示解説、歴史スタンプラリーハイク、小中学校出前講座等を実施し、地域の魅力を再発見し、町民の郷土愛を育むことができた。

6. 財源の説明
【繰入金】 37千円 (ふるさと湯梨浜応援基金)
【諸収入】 23千円 (パンフレット等販売)
【一般財源】 130千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	32	32	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	54	54	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	20	20	25 寄附金		
11 役務費	84	84	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	190	190

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	37	228
諸収入	20050302246	「橋津の藩倉」代	2	1
諸収入	20050302247	「長瀬高浜のはにわ」パンフレ	20	9
諸収入	20050302256	「尾崎家住宅建造物調査報告書	1	1

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		164	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 001000000事業 文化財保護経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	06 文化振興費
事業	大 0011 文化財保護臨時経費 (簡略番号：015992)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	新規	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定	目的区分	教一社会教育費
補助単独区分					

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,143		1,143	222	2,371
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	617		617	
一般財源	526		526	222	

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 長瀬高浜遺跡の発見50周年、町制施行20周年及び令和の発掘調査実施を記念して、特別展示・シンポジウム・関連イベントを実施する。
 報酬 216千円 (特別展示監視員)
 報償費 68千円 (記念シンポジウム講師謝金)
 旅費 116千円 (記念シンポジウム講師旅費)
 需用費 735千円 (特別展示用等消耗品、チラシ等印刷製本)
 役務費 8千円 (チラシ等送料)
【必要性】
 鳥取県を代表する砂丘遺跡である長瀬高浜遺跡を町内外へ広くPRすることで、本町の文化財への理解・関心を高め、今後の保存・活用へとつなげるため。
 2. 根拠法令
 湯梨浜町文化財保護条例
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり (文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見) SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 長瀬高浜遺跡50周年及び町制施行20周年記念事業の実施。
【事業の効果】
 町内の貴重な遺跡や文化財について、町内外の人々の理解の促進が図られるとともに、町の魅力をPRできる。
 6. 財源の説明
【使用料】 270千円 (資料館入館料)
【繰入金】 147千円 (ふるさと湯梨浜応援基金)
【諸収入】 200千円 (パンフレット等販売)
【一般財源】 526千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	216	216	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	68	68	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	116	116	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	735	735	25 寄附金		
11 役務費	8	8	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,143	1,143

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602203	歴史民俗資料館入館料	270	
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	147	
諸収入	20050302247	「長瀬高浜のはにわ」パンフレ	200	

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		165	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 001100000事業 文化財保護臨時経費

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	06 文化振興費
事業	大 0014 施設管理費 (簡略番号：016009)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,036	2,915	121	2,915	2,726
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,080	1,381	△301	1,405
	一般財源	1,956	1,534	422	1,510

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 町内の文化財関連施設(橋津藩倉(古御倉・片山蔵・三十間北蔵)、長瀬高浜遺跡埴輪取蔵庫、羽衣石城模擬天守、旧岡本邸、トウテイランの里)の適切な維持管理を行う。町内の史跡(北山古墳、羽衣石城跡、橋津古墳群、橋津台場跡、河口城跡、宮内狐塚古墳、橋津藩倉周辺)の草刈を行う。
 需用費 一般消耗品、消火器更新、光熱水費、修繕料
 役務費 建物災害共済保険料、消火器リサイクル手数料
 委託料 羽衣石城管理、史跡草刈、トウテイランの里管理、消防用設備点検
【事業の必要性】
 文化財関連施設及び史跡等の適正な維持管理を行うことで、町の貴重な文化財を損なうことなく将来へ伝えていくため。
 2. 根拠法令
 文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見) SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 文化財関連施設の適切な維持管理を行う。国県町指定史跡等の環境を整備する。
【事業の効果】
 文化財関連施設や史跡等の維持管理・環境整備を適切に行い、いつでも安全・快適な利用に資することができる。町内の史跡や文化財を町内外に広くPRすることで、地域の活性化につながる。
【令和5年度事業評価】 文化財の適切な保存及び景観保全が図られた。トウテイランの里にトウテイランを中心とした樹木と山野草の植栽ができた。
 6. 財源の説明
【繰入金】 532千円(天女のふる里・東郷湖「花」基金)
【繰入金】 548千円(ふるさと湯梨浜応援基金)
【一般財源】 1,956千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	184	184	25 寄附金		
11 役務費	218	218	26 公課費		
12 委託料	2,634	2,634	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	3,036	3,036

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	548	829
繰入金	18021501001	天女のふる里東郷湖「花」基金	532	552

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部		165	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 001400000事業 施設管理費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	06 文化振興費
事業	大 0030 文化財保護団体育成補助金 (簡略番号：016031)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	342	342		342	112
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	75	120	△45	123
	一般財源	267	222	45	219

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 文化財保護団体等に対し、保存・伝承・公開等に係る経費を補助するもの。
 (補助率は経費の1/2以内)
《補助対象団体等》※町または県指定無形民俗文化財
 ・東郷浪人踊保存会 (県指定)、橋津ふるさとの文化を守る会 (町指定・茶町踊り・湊神社の祭礼行事)、宇野三ツ星盆踊り保存会 (町指定)、泊大名列保存会 (町指定)、泊貝がら節保存会 (町指定)

【必要性】
 貴重な町の無形民俗文化財の保護・伝承を図るため。

2. 根拠法令
 湯梨浜町文化財保護条例、湯梨浜町文化財保護団体育成事業補助金交付要綱
 湯梨浜町文化財保護事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり (文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見) SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 町内の指定無形民俗文化財保存団体 (5団体) の活動費に対する補助を行う。
【事業の効果】
 無形民俗文化財の保存・公開などについて活動している団体を支援することで、先人から受け継いだ文化遺産を次世代に継承することが可能となる。また、郷土文化を核とした地元住民の連携と交流の促進を図り、もって地域活性化に資することができる。
【令和5年度事業評価】
 保存会の活動に対し支援を行い、文化財の適切な保護が図られるとともに、地域の歴史文化を伝承していく機運の醸成につながった。コロナ禍によりR4年度までは活動できない団体があったが、4年ぶりに5団体すべての事業が実施できた。

6. 財源の説明
【繰入金】 75千円 (ふるさと湯梨浜応援基金)
【一般財源】 267千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	342	342
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	342	342

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	75	120

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		165	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 003000000事業 文化財保護団体育成補助金

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	06	文化振興費
事業	大	0130	尾崎氏庭園管理費補助金	(簡略番号：016091)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一社会教育費			

所属	0101012700-0000		生涯学習・人権推進課 (生涯)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	914	500	414	381	309
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	200	175	25	137
	一般財源	714	325	389	244

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 ①名勝尾崎氏庭園の維持管理に係る補助
 事業費 1,659,900円 (県50%、町25%、所有者25%) 町補助金 414,000円
 ②名勝尾崎氏庭園保存活用計画策定事業補助金
 事業費 2,000,000円 町補助金 (国庫補助を除いた額の1/2) 500,000円
【事業の必要性】 文化財の継続的な保全に資する。また、文化財の適切な保存・管理を行い、活用を図るため。

2. 根拠法令
 文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例、湯梨浜町文化財保護事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり (文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 名勝尾崎氏庭園の植栽の管理及び借景地の整備費への補助。
 雨水の排水対策や木堀の復旧工事、トイレ等の供用施設整備、借景地の整備等を計画的に実施していくための計画策定に係る費用への補助。
【事業の効果】
 所有者の財政的な軽減を図ることで、文化財の継続的な保全に資することができる。
【令和5年度事業評価】
 貴重な文化財の適切な保存が図られた。

6. 財源の説明
【繰入金】 200千円 (ふるさと湯梨浜応援基金)
【一般財源】 714千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	914	914
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	914	914

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	200	175

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		165	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 013000000事業 尾崎氏庭園管理費補助金

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	06	文化振興費
事業	大	0134	尾崎家住宅管理費補助金	(簡略番号：032191)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一社会教育費			

		所属	0101012700-0000		生涯学習・人権推進課 (生涯)		
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	17,195	6,938	10,257	6,938	3,952	
	国庫支出金						
	県支出金	3,181		3,181	1,382		
	地方債						
	その他	3,761	2,436	1,325	2,503		
一般財源	10,253	4,502	5,751	3,053			

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

① 重文尾崎家住宅の維持管理経費（消防設備等）に係る補助。
 事業費 61,700円(県50%、町25%、所有者25%) 町補助金 15,000円

② 重文尾崎家住宅の保存修理事業に係る補助。事業期間H29～R8年度（10箇年）
 事業費 270,000,000円(国85%、県7.5%、町6.25%、所有者1.25%) 町補助金 16,875,000円

③ 尾崎家住宅保存修理事業の記録保存事業に対する補助。R5年度～R8年度（4箇年）
 事業費 111,540円×1/2 (町補助) 町補助金55,000円

④ 尾崎家住宅防災設備等整備事業に対する補助。R6年度～R9年度（4箇年）
 事業費 4,000,000円(国85%、県7.5%、町6.25%、所有者1.25%) 町補助金 250,000円

【事業の必要性】
 江戸中期以前に建築された歴史的建造物が損なわれないよう、維持管理及び経年劣化などによる破損箇所を修復し、適切な保存管理を行うため。また、記録を残し活用を図る。

2. 根拠法令
 文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例、消防法、消防法施行規則
 鳥取県文化財等保存、保護事業費補助金交付要綱、湯梨浜町文化財保護事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとつづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見） SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 自動火災報知機の設備点検、建造物の保存修理事業、保存修理事業の記録映像保存事業及び建造物の防災設備等整備事業への補助。
【事業の効果】
 所有所の負担を軽減することで、国重文建造物の継続的な保全と活用が可能となる。
【令和5年度事業評価】
 建造物保存修理事業の実施により、貴重な文化財の適切な保存・維持管理が図られた。

6. 財源の説明
【県支出金】 3,181千円 (市町村創生交付金) **【一般財源】** 10,253千円
【繰入金】 3,761千円 (ふるさと湯梨浜応援基金)

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費	
02 給料			17 備品購入費	
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	17,195
04 共済費			19 扶助費	
05 災害補償費			20 貸付金	
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費			23 投資及び出資金	
09 交際費			24 積立金	
10 需用費			25 寄附金	
11 役務費			26 公課費	
12 委託料			27 繰入金	
13 使用料及び賃借料			予備費	
14 工事請負費				
15 原材料費			合計	17,195
				17,195

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020803424	市町村創生交付金 (国指定重要)	3,181	
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	3,761	2,436

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部		165	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 013400000事業 尾崎家住宅管理費補助金

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	07 歴史民俗資料館費
事業	大 0110 歴史民俗資料館経常経費 (簡略番号：016173)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	661	422	239	439	449
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	160	158	2	168
	一般財源	501	264	237	271

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 羽合歴史民俗資料館及び泊歴史民俗資料館の維持管理費。
 需用費 消耗品、パンフ印刷、光熱水費、修繕料
 役務費 建物災害共済
 委託料 消防設備点検、床清掃
 負担金 ミュージアムネットワーク会費
【事業の必要性】
 施設の安全や快適な環境を維持し、来館者に良好に施設を提供するため。
 2. 根拠法令
 湯梨浜町歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとつづくり (文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 羽合歴史民俗資料館及び泊歴史民俗資料館の適切な維持管理を行う。
【事業の効果】
 安全で快適な環境を維持することにより、施設を来館者に良好に提供することができる。
【R5年度事業評価】
 両館ともコロナ禍の影響から回復し、団体客や校外学習の復活や長瀬高浜遺跡発掘調査の効果で、来館者数が増加しつつある。羽合はエアコンを更新し、施設を良好に提供することができた。
 ・入館者数 **【羽合】** R5見込400名 R4実績275名 R3実績222名
【泊】 R5見込115名 R4実績123名 R3実績 26名
 6. 財源の説明
【使用料】 20千円 (歴史民俗資料館入館料)
【繰入金】 140千円 (ふるさと湯梨浜応援基金繰入金)
【一般財源】 501千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2	2
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	468	468	25 寄附金		
11 役務費	49	49	26 公課費		
12 委託料	142	142	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	661	661

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602203	歴史民俗資料館入館料	20	15
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	140	143

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		165	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 07目 011000000事業 歴史民俗資料館経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	08	風土記館費
事業	大	0110	風土記館経常経費	(簡略番号：016205)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一社会教育費			

所属	0101012700-0000		生涯学習・人権推進課 (生涯)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,899	3,714	185	3,761	3,559
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	864	1,313	△449	1,366
	一般財源	3,035	2,401	634	2,395

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 ハワイ風土記館及び馬ノ山公園の適正な維持管理をする。
 需用費 消耗品費、光熱水費、修繕料
 役務費 通信運搬費、建物共済
 委託料 機械警備、清掃・草刈・修繕等管理、窓ガラス清掃、消防設備保守点検

【事業の必要性】
 ハワイ風土記館の周辺には橋津古墳群（国史跡指定）が点在し、また、戦国時代の砦も確認されており、歴史とロマンに満ちた場所である。東郷池や羽合平野を一望できることから、年間を通じて町内外から来訪者がある。適正な維持管理を行い、来訪者に美しい景観と歴史に触れていただく場とする必要がある。

2. 根拠法令
 ハワイ風土記館の設置及び管理に関する条例
 ハワイ風土記館の設置及び管理に関する規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】 本館は歴史に関心のある人だけでなく、風光明媚であるためウォーキングコースとして来訪する人も多い。施設及び周辺の日常的な維持管理を行い、来訪者に美しい環境を提供する。
【事業の効果】 適正な維持管理を行うことで、来訪者に美しい景観と歴史に触れていただく場を提供できる。
【令和5年度評価】 町シルバー人材センターに管理委託し、来訪者の満足度を高めるための適切な維持管理ができた。

6. 財源の説明
【諸収入】 14千円（風土記館望遠鏡使用料）
【繰入金】 850千円（ふるさと湯梨浜応援基金）
【一般財源】 3,035千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	599	599	25 寄附金		
11 役務費	99	99	26 公課費		
12 委託料	3,201	3,201	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	3,899	3,899

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	850	1,298
諸収入	20050302255	風土記館望遠鏡使用料	14	15

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		165	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 08目 011000000事業 風土記館経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	09 陶芸館費
事業	大 0101 陶芸館経常経費 (簡略番号：016224)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,102	1,972	130	1,970	1,726
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	672	883	△211	839
	一般財源	1,430	1,089	341	1,131

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 陶芸指導員を配置し、定期的な陶芸体験教室を開催することで、陶芸をとおして町民のふれあいの場を提供するとともに、生きがいつくりと文化的な生活の向上を図る。
【事業の必要性】
 気軽に陶芸を楽しむことができる体制を維持することで、同じ趣味をもつ者の交流や生涯を通じた生きがいつくりを推進することができる。
 2. 根拠法令
 湯梨浜町ふるさと陶芸館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとつづくり (地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 毎月1回の陶芸体験教室、文化大学など町主催事業のほか、子ども会等の団体向けの陶芸教室を開催する。
【事業の効果】
 陶芸指導員を配置することで、町民が気軽に施設を利用し陶芸を行い、ものづくりの体験を通じて生きがいつくりや文化的な生活の向上を図ることができる。また、指導員が陶芸館を定期的に見回することで、より適切に施設を管理することができる。
【R5年度事業評価】
 定期的に陶芸体験教室を開催し、生きがいつくりを推進することができた。また、湯梨浜中学校や定期的な利用者に対し施設を良好に提供することができた。
 陶芸館利用者(見込)延べ798人 うち、陶芸教室参加者(見込)延べ207人
 6. 財源の説明
【使用料】 69千円(陶芸館使用料)
【諸収入】 203千円(陶芸教室材料代)
【繰入金】 400千円(ふるさと湯梨浜応援基金)
【一般財源】 1,430千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,005	1,005	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	4	4	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	641	641	25 寄附金		
11 役務費	104	104	26 公課費		
12 委託料	348	348	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,102	2,102

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602204	陶芸館使用料	69	105
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	400	589
諸収入	20050302254	陶芸教室材料代	203	189

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部		166	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 09目 010100000事業 陶芸館経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	09 陶芸館費
事業	大 0102 陶芸館臨時経費 (簡略番号：038370)				
事業	中				
事業	小				
事業	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,041	583	1,458	583	75
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	1,600		1,600	
	その他				
一般財源	441	583	△142	583	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 ふるさと陶芸館のエアコン修繕と、さくら工芸品工房にある陶芸釜の移設設置工事
 (修繕料) エアコン修繕 1,815千円
 (委託料) 電気釜移設設置 226千円
【事業の必要性】
 ふるさと陶芸館のエアコンは故障しており、夏の熱中症が心配されるため修繕が必要。
 また、現在設置してある陶芸釜は古く、故障する可能性もあるため、現在は使用していないさくら工芸品工房の陶芸釜を移設する。

2. 根拠法令
 湯梨浜町ふるさと陶芸館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)
 SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 エアコンの取替修繕及びさくら工芸品工房の陶芸釜の移設
【事業の効果】
 エアコンを修繕することで、熱中症を防ぎ、快適に利用することができる。また、電気釜を移設することで、現在設置しているものが故障した場合も継続して焼成することができる。
【令和5年度事業評価】
 玄関錠を修繕することで、スムーズに出入りできるようになった。また、看板を設置することにより、陶芸館の周知が図られた。新たな土練機を設置することにより、スムーズに作陶できた。

6. 財源の説明
【地方債】 1,600千円 (公共施設等適正管理推進事業債)
【一般財源】 441千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	2,041	2,041			
15 原材料費			合計	2,041	2,041

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010603025	公共施設等適正管理推進事業債	1,600	

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部		166	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 09目 010200000事業 陶芸館臨時経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費		項	05 保健体育費		目	01 保健体育総務費	
事業	大	0001	スポーツ推進委員報酬 (簡略番号：016269)					
	中							
	小							
事業期間		令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分		経常的経費			事業の種類			未設定
補助単独区分					目的区分			教一保一体育施設費等

財 源 内 訳	区 分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費		1,667	1,671	△4	1,553	1,520
	財 源 内 訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	1,667	1,671	△4	1,553	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 町スポーツ推進委員（全27名）に係る報酬及び費用弁償。
 非常勤職員報酬 1,301千円（会長53,000円/年、委員48,000円/年）
 費用弁償 366千円（4,200円/回）

【事業の必要性】
 生涯スポーツの普及と促進を行うため軽スポーツ教室やウォーキング教室を定期的に開催し、町民へ向けてスポーツを行う機会を幅広く提供するとともにイベント行事などの運営協力を行い町民1人1スポーツの推進並びに町民の健康づくりに資するために重要な役割りを果たしている。

2. 根拠法令
 スポーツ基本法、湯梨浜町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例、湯梨浜町スポーツ推進委員に関する規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 （生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
 SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
 気軽に参加できるレクリエーション・ニュースポーツの指導に当り、もって町民の健康増進が図られる。
【令和5年度評価】
 生涯スポーツの普及と促進を行うため軽スポーツ教室やウォーキング教室を定期的に開催し町民1人1スポーツの推進並びに町民の健康づくりに取り組んでいる。
 ・軽スポーツ教室の開催 12回（年12回）
 ・ウォーキング教室の開催 3回（年 5回のうち 2回雨天中止）
 ・その他各種イベントへの運営協力、ニュースポーツの指導

6. 財源の説明
【一般財源】 1,667千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,301	1,301	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	366	366	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1,667	1,667

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額	補助率	補助金額		

【実施計画】

実施 計画	部		166	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 000100000事業 スポーツ推進委員報酬

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	05 保健体育費	目	01 保健体育総務費
事業	大 0010 体育総務経常経費 (簡略番号：016273)				
事業	中				
事業	小				
事業	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一保一体育施設費等		

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	4,251	4,237	14	4,682	2,830
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	2,698	2,842	△144	3,028
	一般財源	1,553	1,395	158	1,654

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
 町内学校施設の地域開放に伴う維持管理費
 スポーツ推進委員の活動に係る事業経費
 旅費 62千円 中国地区スポーツ推進委員研修会
 需用費 4,167千円 スポーツ推進委員事業消耗品費
 学校施設社会体育利用分電気代
 役務費 6千円 施設利用許可郵送等
 負担金 16千円 中国地区スポーツ推進委員研修会参加費

【事業の必要性】
 町内の学校体育施設を一般町民に開放することでスポーツに親しむ環境が整えられ、
 スポーツの振興が図られるとともに、スポーツを拠点とした町の活性化、健康づくり
 に資するため。また、スポーツ推進委員を設置し、町民のスポーツ振興を図る。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
 SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
 良好に施設を提供することができること及びスポーツに親しむきっかけづくりとして
 資することができる。

【令和5年度評価】
 町内の学校体育施設を一般町民に開放することでスポーツに親しむ環境整備が図られ
 た。スポーツ推進委員の軽スポーツ教室、ウォーキング教室(歩こう会)、地域に出か
 けてのニュースポーツ指導などの事業を通して町民のスポーツ振興が図られた。

6. 財源の説明
【繰入金】 2,698千円 (ふるさと湯梨浜応援基金)
【一般財源】 1,553千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	16	16
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	62	62	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	4,167	4,167	25 寄附金		
11 役務費	6	6	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	4,251	4,251

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	2,698	2,842

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		166	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 001000000事業 体育総務経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	05 保健体育費	目	01 保健体育総務費
事業	大 0014 スポーツ少年団運営事業 (簡略番号：016293)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一保一体育施設費等		

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,453	2,372	81	2,372	2,155
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	7	7		7
	一般財源	2,446	2,365	81	2,365

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 町スポーツ少年団 (21単位団) の指導者びスポーツ少年団の活動に対する経費 (単位団概要)
 軟式野球2団、サッカー2団、ミニバスケットボール4団、卓球1団、バドミントン2団、バレーボール2団、ソフトテニス1団、剣道1団、柔道1団、硬式テニス1団、ドッジボール1団、硬式野球1団、カヌー1団、空手1団 (新規) の計21団
 報償費 指導者謝金
 需用費 交流大会経費、入団案内 (冊子) 作成費
 補助金 指導者の登録料、スポーツ保険掛金、各団強化補助金
【事業の必要性】
 スポーツを通して青少年の心身の健全な発育を図るために必要

2. 根拠法令
 スポーツ基本法

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
 SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
 スポーツを通して児童生徒の心身の健全育成が図られる。
【令和5年度評価】
 全20団の活動に対し補助金交付を行い、活動しやすい環境整備を図りスポーツを通じた児童生徒の心身の健全育成が図られている。

6. 財源の説明
【諸収入】 7千円 (スポーツ安全保険広告料)
【一般財源】 2,446千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,070	1,070
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	1,260	1,260	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	123	123	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,453	2,453

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
諸収入	20050302088	スポーツ安全保険広告料	7	7

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		167	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 001400000事業 スポーツ少年団運営事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	05 保健体育費	目	01 保健体育総務費
事業	大 0031 町体育協会補助金 (簡略番号：016337)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一保一体育施設費等		

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	4,000	4,200	△200	4,000	3,300
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	2,539	2,818	△279	2,587
	一般財源	1,461	1,382	79	1,413

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町体育協会が行う各種町民スポーツ大会・スポーツ表彰並びに郡民・県民スポレク祭等への派遣などに必要な経費に対する補助金。
 補助金 4,000千円 (総事業費4,426千円)
【事業の必要性】
 町体育振興及び町民の健康増進並びに町活性化に資するため。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
 SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【効果】
 町体育振興及び町民の健康増進並びに町の活性化に資することができる。
【令和5年度評価】
 雨天中止の町民大会もあったが、バウンスポール大会をはじめ駅伝大会、グラウンド・ゴルフ大会等、各種大会を実施した。
 郡民・県民スポレク祭等への参加を通じ、町の体育振興及び町民の健康増進並びに町の活性化に資することができた。

6. 財源の説明
【繰入金】 2,539千円 (ふるさと湯梨浜応援基金)
【一般財源】 1,461千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,000	4,000
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	4,000	4,000

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	2,539	2,818

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		167	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 003100000事業 町体育協会補助金

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費	
事業	大	0032	ベテラン卓球大会			(簡略番号：016341)			
	中								
	小								
	細								
	事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常		
	経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
	補助単独区分	目的区分	教一保一体育施設費等						

財	源	内	訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
				事業費	550	550		550	550
				国庫支出金					
				県支出金					
				地方債					
				その他					
				一般財源	550	550		550	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 昭和54年から始まり、令和6年度で第46回を迎える。
 毎年9月の第1土・日の2日間、あやめ池スポーツセンターを主会場として全国の40代以上の卓球愛好者、約300人を迎え、団体戦と個人戦を実施する大会の運営に要する経費の補助金。
 また、宿泊先の斡旋、弁当の斡旋、梨の販売等にも取り組み、大会を通じて町の観光産業の振興、町の活性化も図る。
 町補助金 550,000円

【事業の必要性】
 生涯スポーツの普及と大会を通じた宿泊及び梨狩りなど、町の観光産業振興、町の活性化に寄与するため。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
 にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果

【計画効果】
 町の賑わい、観光産業振興が図られる。

【令和5年度評価】
 9月2, 3日(土、日)の2日間に渡り第45回大会を実施。8府県135人の参加をいただき開催した。大会を通じ宿泊旅館や弁当の斡旋を行い、町の観光産業振興、町の活性化にも寄与することができた。

6. 財源の説明

【一般財源】 550千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	550	550
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原재료費			合 計	550	550

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額	補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		167	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 003200000事業 ベテラン卓球大会

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事業	大	0035	日本海駅伝開催補助金 (簡略番号：016353)					
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一保一体育施設費等				

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	700	700		700	650
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	700	700		700		

【事業概要】
1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
全国の高校・一般のチームを対象に、例年全国から約130チームを迎えて10月頃に開催される大会の運営に要する経費の一部を負担する。
主催：(株)新日本海新聞社
補助金 700,000円
【事業の必要性】
高校の部参加の全国の有力校の走りを見近にすることで駅伝の醍醐味を味わうこと並びに参加チームの町内宿泊による観光・産業の振興及び「湯梨浜町」の全国発信を図るため、事業主催駅伝コースとなる町として、共に盛り上げることが必要。
2. 根拠法令
3. 用地の状況
4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】
志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
にぎわいと活力あるまちづくり
(観光の振興)
SDGs 目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」
5. 本年度の計画効果
有力アスリートを身近に見ることによってスポーツへの関心が高まることが期待されるとともに、町内宿泊による観光・産業の振興及び「湯梨浜町」の全国発信が図られる。
【令和5年度評価】
全国高校駅伝の前哨戦として、全国大会常連校など多くの強豪校105チームが出場。全国各地からの選手が訪れたため、町内ホテル、旅館・お土産物屋などを利用された。これからも地域に愛され全国から多くの高校が出場する大会として継続していくことにつながっていくことができた。
6. 財源の説明
【一般財源】 700千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	700	700
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	700	700

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		167	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 003500000事業 日本海駅伝開催補助金

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事業	大	0127	ドラゴンカヌー事業	(簡略番号：023343)				
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一保一体育施設費等			

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,805	2,368	△563	2,368	1,798
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	3	3		3
	一般財源	1,802	2,365	△563	2,365

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
主にドラゴンカヌー大会の開催補助金、カヌーの維持管理費及び東郷湖漁協と締結したドラゴンカヌーの使用に伴う湖面占有補償金。大会は、H13年度に始まりR6年度で24回目となる。例年、町内外から約70チーム、観覧者等約千人が集う大会。H26年度より会場をはい夢広場に移し、8月に毎年開催。H27年度より前夜祭を企画しナイトレースを実施することで参加者の宿泊利用者を誘致し観光産業の振興、町の活性化にも取り組んでいる。
需用費 80千円
補助金1,350千円 (予定事業費2,884千円 内参加料670千円、広告協賛金400千円他)
補償金 375千円

【事業の必要性】
東郷池の活性化を図る事業として、また県内でも東郷池でしか取り組まれていない競技であり、広く親しまれ、町の活性化に大きく貢献しており、継続支援が必要。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
ドラゴンカヌー艇の維持管理、保全及び東郷池の魅力の一つとしての情報発信に資する。
【令和5年度評価】
今年度は、コロナ以前のドラゴンカヌーを開催し、キッチン・出店や海外チーム参加など話題性を高めたほか、小学生による体験活動、H28年度からの町観光協会を主体とした教育旅行プランにより県外中・高校生の修学旅行の誘致、ワークショッププログラムでのドラゴンカヌー体験等により協議への関心を高めた。

6. 財源の説明
【使用料】 3千円 (ドラゴンカヌー使用料)
【一般財源】 1,802千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,350	1,350
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	375	375
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	80	80	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,805	1,805

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602404	ドラゴンカヌー使用料	3	3

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部		167	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 012700000事業 ドラゴンカヌー事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事業	大	0252	グラウンド・ゴルフ発祥地大会運営費補助金	(簡略番号：016572)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一保一体育施設費等			

所属	0101012700-0000		生涯学習・人権推進課 (生涯)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,665	2,365	300	2,365	2,665
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	2,600	2,300	300	2,300
	その他	65	65		65
	一般財源				

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 6月8日(土)9日(日)に、『潮風の丘とまり』を会場として、全国のグラウンド・ゴルフ愛好者を対象に全国から576人(192チーム)を迎え、大会の運営経費の補助を行う。
 町補助金 2,665千円(事業費 4,404千円 内、参加費等1,739千円)
 主な経費 報償費 1,435千円(表彰、参加賞等)
 需用費 632千円(消耗品、郷土料理材料費等)
 通信料 128千円(郵券料等)
 委託料 391千円(競技運営、クリーニング代等)
 使用料 1,818千円(公園使用料、テント借上料等)

【事業の必要性】 グラウンド・ゴルフ発祥の地をPRし、生涯スポーツの推進、町民との交流及び観光・産業振興を図るため。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
 にぎわいと活力あるまちづくり(観光の振興)
 共に支え合う町民が主役のまちづくり(多様な交流の推進)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果

全国各地からのプレーヤーとの交流はもとより、宿泊や特産品の販売など、観光と産業振興が図られる。また、グラウンド・ゴルフ競技の一層の普及が図られる。
 参加者の町内旅館への宿泊を斡旋する。

【令和5年度評価】 新型コロナウイルス感染症の影響により昨年同様1チーム3名で開催。実績 県内25チーム、県外167チーム。来年度の大会向け準備を進めている。

6. 財源の説明

【繰入金】 65千円(グラウンドゴルフ発祥地大会基金)
【地方債】 2,600千円(過疎対策事業債(グラウンドゴルフ発祥地大会))

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,665	2,665
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,665	2,665

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021101401	グラウンドゴルフ発祥地大会基	65	65
地方債	21010604004	過疎対策事業債(グラウンド・	2,600	2,300

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		168	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 025200000事業 グラウンド・ゴルフ発祥地大会運営費補助金

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事業	大	0254	グラウンド・ゴルフ国際大会運営費補助金	(簡略番号：033522)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一保一体育施設費等				

区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	4,709	4,709		3,348	1,240
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	717		717	
	一般財源	3,992	4,709	△717	3,348

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】本町発祥のグラウンド・ゴルフを世界に普及させるべく、海外へのPR活動を行うとともに、発祥の地での国際大会の開催の補助を行う。(参加予定者384名)

全体事業費 報償費 810千円(表彰副賞、参加賞等)
7,862千円 旅費 3,280千円(海外選手宿泊助成等 @5,000円/泊・人)
需用費 2,123千円(事務費、郷土料理材料費等)
役務費 200千円(郵券料、保険代)
委託料 289千円(競技運営委託、ステージ看板設営等)
使用料 1,160千円(公園使用料、テント借上料)

【事業の必要性】本町で開催される国際大会や延期後の会期が未定となっているがワールドマスターズゲームズ2027関西への機運醸成、インバウンドの促進など観光・産業振興のため。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
にぎわいと活力あるまちづくり(観光の振興)
共に支え合う町民が主役のまちづくり(多様な交流の推進)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

①海外への普及促進・プロモーション活動(実行委員会への補助)
②グラウンド・ゴルフ国際大会の開催(実行委員会への補助)
③海外からの参加者への宿泊補助

【事業の効果】
発祥地として本町の国際的な認知度を向上、外国人宿泊客を確保することができる。

【令和5年度評価】海外からの選手参加を中心に、国内・県内外国籍の方をあわせ10/6.7、GGYURIHAMA2023を実施、好評を得た。

6. 財源の説明

【繰入金】717千円(ふるさと湯梨浜応援基金)
【一般財源】3,992千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,709	4,709
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	4,709	4,709

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	717	

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額	補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		168	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 025400000事業 グラウンド・ゴルフ国際大会運営費補助金

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事業	大	0259	ねんりんピック2024事業 (簡略番号：043855)					
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	教一保一体育施設費等				

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,019	600	2,419	300	143
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金		300	△300	
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,019	300	2,719	300

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 2024年(R6)に鳥取県で開催するねんりんピックにおいて、本町でグラウンド・ゴルフ交流大会を開催する事業主体の町実行委員会への補助金。

【事業の必要性】
 2024年(R6)に開催するねんりんピック(グラウンド・ゴルフ交流大会)の大会PR・大会運営のため。

【事業の内容】 (町実行委員会への補助金 事業計画額7,000千円)
 管理運営費 実行委員会や大会運営者に係る経費
 歓迎装飾費 大会開催広報に係る経費
 交流大会開催費 大会開催・運営に係る経費
 その他 参加賞や表彰副賞に係る経費

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】
 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進
 SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】 大会開催のPR、大会運営を行う。
【事業の効果】 大会の開催により、高齢者への運動機会の提供、来県者による観光や宿泊による経済効果が見込める。
 県補助金は、実行委員会へ直接補助される。
【令和5年度評価】 大会開催のPRや先催県(愛媛県)の視察を行い、実施状況や準備について確認することができた。

6. 財源の説明

【一般財源】 3,019千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	3,019	3,019
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	3,019	3,019

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020804229	ねんりんピック2024事業補助金		300

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部		168	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 025900000事業 ねんりんピック2024事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費
事業	大	0009	体育施設管理経常経費	(簡略番号：016581)				
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一保一体育施設費等			

所属	0101012700-0000		生涯学習・人権推進課 (生涯)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	4,685	4,761	△76	4,761	3,314
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	3,201	3,352	△151	3,249
	一般財源	1,484	1,409	75	1,512

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
 社会体育施設の維持管理に係る経費（北浜体育館、羽合野球場、泊体育館、泊テニスコート、泊野球場、泊相撲場、東郷体育館、羽合西コミュニティ、東郷運動場）
 報償費 鍵管理謝金
 需用費 消耗品費、光熱水費、修繕料
 役務費 郵券料、手数料、建物共済負担金
 委託料 消防設備点検、施設清掃・除草など
 使用料 AEDリース、乗用草刈機借り上げ料
 原材料費 土、砂等の整地材

【事業の必要性】
 町民1人1スポーツを実現するための施設として、良好に提供するため。

2. 根拠法令
 湯梨浜町社会体育施設の設置及び管理に関する条例・施行規則
 小学校及び中学校体育館並びに社会体育施設等の照明灯交換基準要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
 SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
 施設の適正な維持管理を行うことにより良好な施設の提供ができる。
【令和5年度評価】
 社会体育施設の定期的な維持管理業務を行い、利用者へ良好な施設提供を行い町民1人1スポーツの実現に向けて取り組んでいる。
 ・年間利用者数 8施設 延べ20,284人(見込) R4実績 16,123人

6. 財源の説明
【使用料】 623千円 (体育施設使用料)
【繰入金】 2,578千円 (ふるさと湯梨浜応援基金)
【一般財源】 1,484千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	10	10	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,619	2,619	25 寄附金		
11 役務費	597	597	26 公課費		
12 委託料	1,186	1,186	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料	243	243	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費	30	30	合計	4,685	4,685

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602403	体育施設使用料	623	481
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	2,578	2,871

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部		168	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 02目 000900000事業 体育施設管理経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	05 保健体育費	目	02 体育施設費
事業	大 0010 体育施設管理臨時経費 (簡略番号：016650)				
中					
小					
細					
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一保一体育施設費等		

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課 (生涯)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	33,951	59,304	△25,353	58,895	53,388
財源内訳	国庫支出金		8,272	△8,272	7,922
	県支出金				
	地方債	6,600	50,400	△43,800	49,500
	その他				
	一般財源	27,351	632	26,719	1,473

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 社会体育施設の改修等を行う。
【事業の必要性】
 老朽化した施設の改修等を行い、利用者に良好な施設を提供するため。
【事業の内容】
 北浜体育館駐車場整備工事
 北浜体育館照明LED改修工事

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
 SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画】 社会体育施設の改修等を行う。
【効果】 良好な施設を提供し、スポーツに親しむきっかけづくりに資することができる。
【令和5年度評価】
 東郷体育館照明LED改修工事、泊体育館耐震化工事及び泊テニス場フェンス修繕工事を実施した。利用者に安全安心な施設提供に努めるとともに、スポーツ振興を図ることができた。

6. 財源の説明
【地方債】 6,600千円 (脱炭素化推進事業債)
【一般財源】 27,351千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	110	110
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	1	1	26 公課費		
12 委託料	1,410	1,410	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	32,430	32,430			
15 原材料費			合計	33,951	33,951

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020402201	住宅・建築物耐震改修等事業補		8,272
地方債	21010604006	過疎対策事業債 (泊体育館施設)		44,900
地方債	21010604013	過疎対策事業債 (泊テニス場施)		2,200
地方債	21010604018	過疎対策事業債 (東郷体育館照)		3,300
地方債	21010604019	脱炭素化推進事業債 (体育施設)	6,600	

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部		168	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 02目 001000000事業 体育施設管理臨時経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	06 人権教育費	目	01 人権教育総務費
事業	大 0010 人権教育総務経常経費	(簡略番号：016784)			
事業	中				
事業	小				
事業	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経 経常
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定	
補助単独区分			目的区分	教一社会教育費	

所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課 (人権)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,237	2,617	620	2,772	2,556
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,237	2,617	620	2,772

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町内の人権教育を推進するために設置する町人権教育研究推進員（全7名）の報償費及び全国集会等参加に係る県外出張旅費及び資料代等。会計年度任用職員1名の給与。報酬 1,854千円 手当等 687千円 共済費 417千円 報償費 67千円 旅費 157千円(全国人権・同和教育研究大会他) 需用費 46千円 役務費 9千円

【必要性】
 全国各地で部落差別をはじめあらゆる人権問題の早期解決を図るため取り組んでいる事例や成果を学ぶこと及び人権教育研究推進員による事業評価等を通して、町の一層の人権教育推進を図るため。

2. 根拠法令
 湯梨浜町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例
 湯梨浜町人権教育研究推進員の設置及び運営に関する規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって 共に学び 明日を拓く ひとつづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】 人権教育の推進、人権啓発の推進
 SDGs目標10「人や国の不平等をなくそう」

5. 本年度の計画効果
 部落差別をはじめあらゆる人権問題の早期解決に向け、各地で取り組んでいる諸集会での事例、実践、研究発表等を学ぶことにより、今後の町の人権教育・啓発の推進が図られる。町や県の取り組みを広く町民に周知することにより人権教育・啓発の推進が図られる。

【令和5年度評価】
 部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、人権尊重社会を実現することをめざして、全国各地の事例や成果を学んだ。また人権教育研究推進員による事業評価等を通して、町の一層の人権教育推進を図った。

6. 財源の説明
【一般財源】 3,237千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,854	1,854	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	687	687	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	417	417	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	67	67	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	157	157	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	46	46	25 寄附金		
11 役務費	9	9	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	3,237	3,237

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		169	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 06項 01目 001000000事業 人権教育総務経常経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	06 人権教育費	目	01 人権教育総務費
事業	大 0034 人権教育推進活性化事業 (簡略番号：016827)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一社会教育費		

所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課 (人権)				
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
財源内訳	事業費	469	305	164	137	161
	国庫支出金					
	県支出金	456	295	161	117	
	地方債					
	その他					
一般財源	13	10	3	20		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 人権意識向上のための啓発活動として町民のつどい(講演会)、人権教育推進大会(公演)、ゆりはま人権セミナー(2回)を実施する。
 報償費 講師謝金
 旅費 講師旅費
 需用費 啓発物品
 委託料 公演委託

【事業の必要性】
 部落差別をはじめあらゆる差別をなくすため、年間を通して計画的に人権教育・啓発事業を行うことで、町民に対し人権感覚の向上と人権尊重意識の向上を図るため。

2. 根拠法令
 湯梨浜町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例
 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって 共に学び 明日を拓く ひとつづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画】 人権啓発の推進
 SDGs目標10「人や国の不平等をなくそう」

5. 本年度の計画効果
【効果】
 人権尊重の重要性の再認識、人権問題を自分の問題として捉えること及び人権尊重の意識向上が図られる。
【令和5年度の事業評価】
 上映会、ゆりはま人権セミナー、公演等の開催により町民の人権意識の向上に資することができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 456千円 (人権啓発活動委託金)
【一般財源】 13千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	23	23	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	4	4	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	17	17	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	425	425	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	469	469
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15030601203	人権啓発活動委託金	456	295

【補助金】

補助金等の名称	人権啓発活動委託費				
補助基本額	456	補助率	100.0%	補助金額	456

【実施計画】

実施計画	部		170	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 06項 01目 003400000事業 人権教育推進活性化事業

歳出予算事業概要書

款	09	教育費	項	06	人権教育費	目	01	人権教育総務費	所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課(人権)
事業	大	0136	町人権教育推進協議会事業				(簡略番号：016931)				
事業	中										
事業	細										
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常					
経費区分	未設定		事業の種類	未設定							
補助単独区分			目的区分	教一社会教育費							

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	1,591	1,591		1,591	626
	国庫支出金					
	県支出金	377	333	44	333	
	地方債					
その他						
一般財源	1,214	1,258	△44	1,258		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けて、町人権教育推進協議会が実施する、ゆりはま人権セミナー、町民のつどい、人権教育推進大会等の研修や講演、人権標語の募集、地域部会を中心に各集落で行われる人権教育座談会等に係る講師謝金や旅費等の経費に係る補助。
 補助金 1,591千円(内、3地区人権教育推進協議会分1,030千円)

【必要性】
 様々な人権問題が依然として存在している現在、町民に対して行政・学校・家庭・職場・地域社会が連携して人権教育に関する研修や啓発活動を継続的に推進し、人権問題に対する正しい理解を深め、人権尊重意識の向上を図るため。

2. 根拠法令
 湯梨浜町部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくする条例
 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって 共に学び 明日を拓く ひとつづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画】 人権啓発の推進
 SDGs目標10「人や国の不平等をなくそう」

5. 本年度の計画効果
 町民の人権問題に対する正しい理解が深められ、また人権尊重意識の向上が図られる。
【令和5年度評価】
 部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けて、小・中学生からの人権標語の募集等を含め町民対象の人権教育講演会や各種研修会等を開催、町内3地区では、人権教育座談会を実施し、行政・学校・職場・地域社会とが連携して人権教育を推進することができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 377千円(市町村創生交付金)
【一般財源】 1,214千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,591	1,591
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,591	1,591

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020803419	市町村創生交付金(人権教育推)	377	333

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金				
補助基本額	1,591	補助率	23.7%	補助金額	377

【実施計画】

実施計画	部		170	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 06項 01目 013600000事業 町人権教育推進協議会事業